

## 教員推薦図書 2022年2月

推薦教員	国際言語文化学科 教授 直井 文子 先生	<b>【推薦コメント】</b> <p>『紅樓夢』は中国の清代 18 世紀に書かれた長編小説で、原題を「石頭記」と言います。他にも「風月宝鑑」「情僧録」「金陵十二釵」「金玉縁」などいくつもの別名があり、日本の『源氏物語』とよく比較されます。主人公は賈宝玉（か・ほうぎょく）という美男の貴公子で、生まれた時に口の中に美しく透き通った五彩の玉を含んでいました。彼とさまざまな形で関わる主な女性が 12 名、その他の登場人物は 500 名にもものぼるそうです。それらの人物一人一人の描写が、本の少しの脇役まで実に細かく、特に女性の描き方が絶妙なのです。作者自身が零落した名家の一員であり、その半生の間に親しく見聞きした、優れた女性たちについて語るために、この小説を書いたと述べています。</p> <p>残念ながら作者は出版前に亡くなり、現行のものは 120 回本ですが、前半の 80 回が曹雪芹の原作で、後の 40 回分は別人の続作です。続作の作者は出版の協力者の高鶚（こう・がく）と思われていましたが、現在は疑問視されているようです。</p> <p>単なる恋愛小説というだけでなく、封建制度に対する批判精神を読み取る研究もありますが、私は女性の個性に注目し、社会制度は異なりますが、『源氏物語』の中の女性たちと比べて考えてみるような読み方も、あっても良いのではと思います。今回の現代日本語の新訳にも興味が湧きます。</p>
書名	新訳 紅樓夢 全 7 巻	
著者名	曹雪芹 著 井波 陵一 訳	
出版社	岩波書店	
請求記号	923.6 / Sou / 1~7	
資料 ID	901121533~901121539	